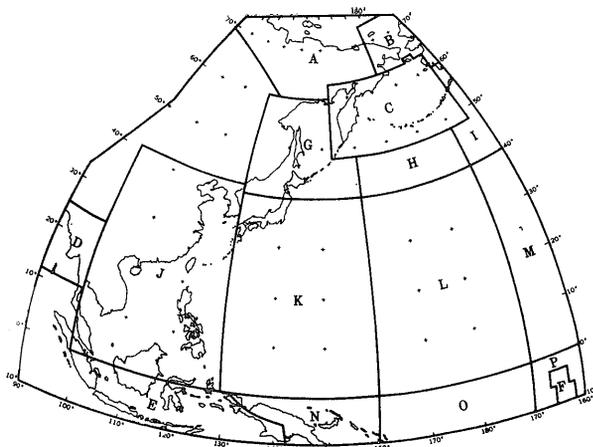


第1図 環太平洋クオドラント地図の範囲 5つのクオドラントはそれぞれ重複し その縮尺は1千万分の1 全域図の縮尺は2千万分の1



第2図 環太平洋北西クオドラント地理図および基本図の範囲 (A B等の区画は等深線を描くために使用した資料の出所を示す記号)

## 環太平洋地図シリーズ

### 海外地質調査協力室

この地図シリーズを作成するために 環太平洋エネルギー・鉱物資源理事会の事業の一つとして 環太平洋マップ・プロジェクトの組織が1973年2月に発足した。このプロジェクトは 太平洋に関係する地球科学者の協力により 太平洋の海底および隣接陸域の地質および地下資源に関する情報を編集し 各種の地図にまとめるため組織された。作業を容易にするため環太平洋を第1図に示すように 北東 北西 南東 南西および南極の5つのクオドラントに分け それぞれにパネル議長をおきこれを総議長(米国地質調査所国際地質部長)が総括している。地図シリーズに含まれる地図の種類は 前述の5つのクオドラントのそれぞれについて 地理図 地質図 地質構造図 エネルギー資源図および鉱物資源図の5種類の地図で 1千万分の1の縮尺で作成される。このほか 地球物理図の作成 環太平洋全域をカバーする縮尺2千万分の1の各種地図の作成も検討されている。

基礎になる地図はランベルト等積法により 5つのクオドラントの範囲は互に重なり合うよう定められている。最近この地図シリーズの中で地理図と基本図が印刷出版され 一般に販売されるようになったのでその概要を説明する。5つのクオドラント地図と全域図の内 北西北東および南東の3つのクオドラントについて 多色刷の地理図と2色刷の基本図が印刷出版された。

地理図 133×102cm 縮尺1千万分の1 ランベルト等積投影法 陸域には1,000m毎の等高線が入り 1,000m以下については200mの等高線が入っている。海域には2,000m毎の等深線が入り 2,000m以下については200mの等深線が入っている。一般の地理図にみられるように これら等高線および等深線にしたがって彩色がほどこされ さらに 水系 地名 国境線および10度毎の経度 緯度が記入されている。

基本図 133×102cm 縮尺1千万分の1 ランベルト等積投影法。等高線および等深線は地理図と同様で薄青色で記入され ほかには海岸線 水系および2度毎の経度 緯度が黒色で示されている。

これらの地図は 米国地質調査所で編集され 米国石油地質学会の特別出版物として販売されている。

(わが国では 地学文献センター [(0423) 62-5050] が取次販売をする予定である)

地質ニュース	第288号	8月号
	定価 ¥450	〒50
昭和53年8月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951(代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	